

発行所
大洗町役場
発行人
加藤 清
印刷所
富士オフセット印刷(株)
☎ 水戸 (31) 4241

大洗港建設の記録

町長 加藤 清

大洗港をつくる動因

私も皆さんと一緒にこの町に生まれて育ち、大洗の土になるわけですし、一生涯住んでいるわけですが、どういふふうに町の中の生活を豊かにしながら生きて行くかということが一番大事なわけです。そこで町長はどういう考えで地域づくりをやっているか、ということが一あるかと思います。

からは学生の身分でなかなか出来ません。そこで私は将来町の行く未来は、どうしても築港を築かなければ町というものは伸びないだろうという考えを、持にもつようになりました。つまり、如何にして貧乏から抜けだすかということだったのです。そこで二十才の頃です

から、演説会を開いて町民に呼び

大分、古い話で恐縮ですが、私が学生時代、丁度大正の終り頃から昭和の初めですが、これは日本の経済史上でも有名な、深刻な不況が続いた時代でした。あの頃は二十四円のお金があると、一ヶ月の暮しが出来た、そういうふうに覚えています。従って、私達の町でも品物の値段は安いけれど、買っ金がないときています。お金が一杯あって、物が一杯あることが一番暮らし良いのですが、物が無い、お金もないということは、一番ひどいことです。丁度、日本が戦争に負けた終戦の時と同じで、物がもう殆どない、手に入らないという非常に苦しかった時代、それと同じようなことが、昭和の初めの日本の状態だったのです。そのかけようということになり、今はなくなりましたが中村屋という劇場があり、そこで演説会を開いて町の問題を色々やったわけですね。その当時は磯浜町でしたが、その時叫んだことは町では漁業という産業があり、しかも港がない。港と船は親と子との関係である。しかも昭和の終りから大正の初めにかけ茨城県では初めて、磯浜港が一の漁港として県費で着工したが失敗してしまっ。今の役場のあたりは、私達の子供の頃はドブ、ドブと海の中であつたと思つていますが、そこで将来、どうしても築港をつくらなければならないという考えを訴えたわけです。その後たまたま、昭和29年になって磯浜と大貫とが合併して大洗町が

の大洗町が出来たわけです。そこで大洗町をどうするかということになったのです。私は町のくらしを良くするにはどうしてもやっぱり海です。海というものを出来るだけ利用しなければならぬ。そこで海を利用するにはどうするかと言うと、築港を造らなくてはならない。ということで公約をしたわけです。もともとその前に私のクラスメートが県の土木部長をやっておりまして、私は自分の意見を述べ非公式にその見解を求めたのですが、「大洗は磯浜時代に一度失敗している。築港をつくる」ということは、それは大変な事だ、出来るか出来ないか判らないような公約はしない方がいっただろう」と忠告されたことを覚えて

全員バスで中央へ陳情

それでどのような運動をやったかと申しますと、港をつくるというのは何十億と金がかかりますから、とても国や県の支援がなければ出来るわけがないですね。そこで国の方へ乗り出して行こうとということで、バスに乗って町議会議員全員、亦漁協や加工組合幹部も一諸に東京へ出たわけです。その時に丁度、赤城さん、皆さんも御承知だと思いますが、農林大臣をやっておったんですね。漁港は水産庁所管であり、水産庁は農林省の所管なのです。赤城さんは私

して、「自分が町長になろうという動機は大洗が太平洋に面しており、海を利用して生きて行かなくてはならない。観光ということと平行して産業も起きなくてはならない。そのためにはどうしても、港をつくらなくてはならない。」ということで公約をしたわけです。それから、もう一つ強い動機があらわれました。というのは、私が町長になってから大船の方では、屢々那珂川河口で遭難がありました。一方小船の方では少し浪が荒れ荒れと出漁が出来ないという悩みがあり、稼動日数にもかなり影響があったわけです。そんなわけで一日も早く、みなとをつくらなければならぬという決意が固められた次第です。

の学校の先輩ですから、農林大臣に頼んで港をつくって貰おうといいうことで、赤城さんに会ったんです。すると赤城さんは水産庁の漁港部長を呼び「今大洗の町長と町会議員が来ているが、何故大洗に港が出来ないのか、考えてやっさいじゃないか」ということで、まじまじと聞いてみると、「よく研究してみよう」ということになったわけなんです。ところが実際はつくろえなかつた。何故なら、その時は那珂湊に漁港修築が行なわれており、そっちの方に金をつぎこんで

全員バスで中央へ陳情

てはならない。ということで公約をしたわけです。もっとも土の前に私のクラスメートが県の土木部長をやっておりまして、私は自分の意見を述べ非公式にその見解を求めたのですが、「大洗は磯浜時代に一度失敗している。築港をつくる」といふことは、それは大変な事だ。出来るか出来ないか判らないような公約はしない方がいい、だらう」と忠告されたことを覚えていた次第です。

それでどのような運動をやったかと申しますと、港をつくるというのは何十億と金がかかりますから、とても国や県の支援がなければ出来るわけがないんですね。そこで国の方へ乗り出して行こうということ、バスに乗って町議会議員全員、亦漁協や加工組合幹部も一諸に東京へ出たわけです。その時に丁度、赤城さん、皆さんも御承知だと思いますが、農林大臣をやっておったんですね。漁港は水産庁所管であり、水産庁は農林省の所管なのです。赤城さんは私

の学校の先輩ですから、農林大臣に頼んで港をつくって貰おうということで、赤城さんに会ったんです。すると赤城さんは水産庁の漁港部長を呼び「今大洗の町長と町会議員が来ているが、何故大洗にらひじやないか」ということで

大洗高年者大学での講演要旨

本稿は本年6月28日、憩の家で行なわれた大洗高年者大学の講義の要旨であります。尚、本講義の録音をして戴きました関根仲次郎さんに、厚く御礼を申し上げます。

A black and white photograph showing a large industrial vessel, likely a tugboat or a barge, equipped with a tall crane. The vessel is positioned in a body of water, possibly a harbor or a river, near a rocky shoreline in the foreground. In the background, other smaller vessels and structures are visible, suggesting a busy port area. The image has a grainy, halftone texture.

提示され、それが十五日までに決定するという情報が入ったからでした。そこで一月七日の出初式が終った翌八日、日曜日でしたが議会の全員協議会を開き、全員交替で運動のため、上京することを決めたわけですね。県議の小幡さんや漁業関係の幹部も勿論一体となつたわけです。そして私は関係職員をつれて九日に上京をしました。私は戦時中二回召集を受けて戦地に参りましたが、今度は心中秘かにその三回目にあたるという決意を致しておつたわけです。処が上京してみますと非常に驚きました。運輸省の出した予算三千二百三十五億円が大蔵省で二千億円に削られてしまつた、これではとても問題にならん、新規港湾の希望が全国で六十ヶ所あり、これは五ヶ所に絞らなければならぬということ

は職員が附き添つて、議員が交替に冬の寒さをものともせず、一番の列車で上京し、一日運動をして夜おそく帰るという毎日でした。先日も県のある席で話が出たのですが、大洗の議員さんの使つた名刺は今でも印象に残っていると云われました。それは運動の効果が判るように、葉書大の名刺をつくらせて持ち歩いたからでした。運輸省や大蔵省、議員会館から自民党の本部まで、到るところ大洗が話題になつたものです。私も今年新規に入らなければ、永久に難かしいであらうと思ひ、懸命にやつたわけですが、今はしづなつた大野伴睦氏、当時自民党の副総裁で陳情は絶対に受けつけないと云つておりましたが、本町出身の飛田さんが懇意なので、その紹介で会つたことを覚えてゐます。それに幸

入れるかどうかという期待感と不安感の中に、予定の十五日が過ぎ去つた十八日を迎えなければならぬ。私も全代表の一人として、プリンスホテルで議長をやつておる時、図らずも五〇億円の復活が認められたという情報が入り、思はず快談を叫んだことを覚えております。そこで大洗港も有利となり、最終的には全国二番目の国の新規港湾として、内定したわけです。その翌日、各方面へ御礼に歩き翌十九日に帰浜したのですが、翌二十日に県から土木部長が見えられ、大洗の活躍には本省でもとても悦んでおり、よろしく伝えて欲しいと云う伝言を持つてこられ、非常に嬉しく思ひました。その年の秋、有賀祭の日には運輸大臣や県知事が出席して起工式が行なわれたことは御承知の通りであります。

迎える正念場

と平行して県の方で、**「」**専門の技師の赤津さんが乗り出してくれ、色々便宜を図ってくれたわけですから、そこで、こんどつくって失敗したら大変ですから、絶対失敗してはならないという意気込みがあり、特によかったことは日本ではじめて、東海村に原子力研究所が出来て、そこでアイストーブが作られるようになったことでした。アイストーブを海に投げ、それが波間に流れるとそれをガイカガリという機械があり、船で追跡して行くと、はつきり波の移動が判るのですね、そういう調査は大洗港が全国で一番目についたわけですから、何でも一番最初は今日、吾々が国数の港になっている苫小牧港だったと記憶しております。とにかくそういう調査を経て三年目の昭和三十六年に入り、愈々正念場を迎えたわけですから、それまでも忘れられない出来事や、多くの苦しみがありました。時間が関係せず省略させて戴きます。

A black and white photograph showing a large harbor filled with many fishing boats and ships. The boats are packed closely together, with their masts and rigging visible against the sky. The water is calm, reflecting the boats. The foreground shows a concrete pier or dock area. The background shows a distant shoreline with some buildings and trees.



また議会とも協議し、町民の皆さんにも理解して貰って、遂次進めて行きたいと考えております。今日はこれを以て終ります。

す。當時のことを考えますと、地域発展の為町の総力が結果された事と、県や中央の理解が深まった結果であると思っております。尚、三十六年度から五十一年度までには投資された事業費は三十四億八千七百五十万円、そのうち国が十二億九千七百六十万円、県が十六億四千二百万円、町が五億四千九百七十万円、大体八十五％が国と県、十五％が町です。また町漁協の負担金の中には磯浜漁協、大洗の負担金の中には磯浜漁協、大洗の仲買人組合の三者の負担金で二千八百七十三万円が含まれております。今年、五十二年度は大洗のブルーノから砂止提を出すことになりました。何故かと申しますと、今の大洗港をつくる時にも調査をしたのですが、南の方から一本砂止提を出しておかないと浅くなる心配があるというわけですから、今後どうするかという問題があるわけですが、私は大洗港の未来は鹿島のような工業港でなく、水産物や農産物の持つ食糧の基地、商業や観光の持つ流通サービス基地、そういう特色のある港にすれば公害もなく町民全体が生きて行けるのではないかと思っております。勿論、漁業関係者の持っている漁業権がありますから、

健全財政維持努力の

昭和51年度一般会計

決算のあらまし

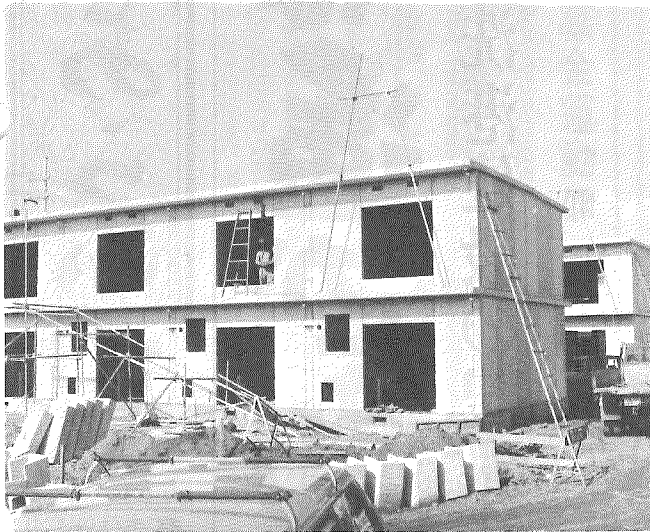
低成長下の経済環境下にあつて、国、地方を問わずその財政については非常に厳しい状況にありますが、その中で本町の昭和51年度決算が報告されました。

げますと次のようになります。

本町の場合、地方財政対策として構えられた公債依存措置を反映して公債依存型予算の色彩が強い反面、電源開発促進対策交付金、原子力関係機関の協力金、ゴルフ場の寄附金等があつて、普通建設事業も前年に下廻ることなく執行され、併せて財源調整、節減調整等の措置が効を奏し、実質収支において六五、〇五四、〇〇〇円の黒字決算となりました。

決算額は歳入二十一億九千八百四十三万八千円、歳出二十一億三千三百三十八万四千円、これを前年度決算額と比較してみると、歳入で一億一千三百二十九万四千円の減(四・九%減)、歳出で六千四百三十九万二千円の減(二・九%減)と、それぞれ減額となつていますが、これは本年度から桜道土地区画整理事業が特別会計で処理されたことなどが主な理由です。

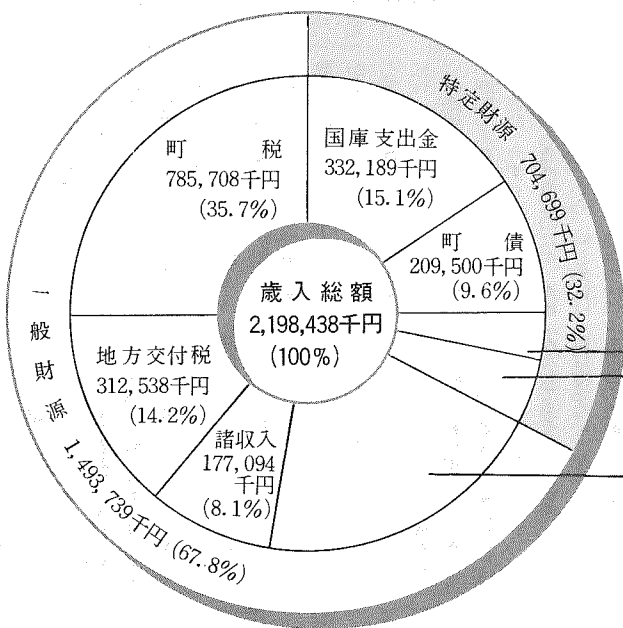
こゝで建設事業の主なものを掲



一般会計

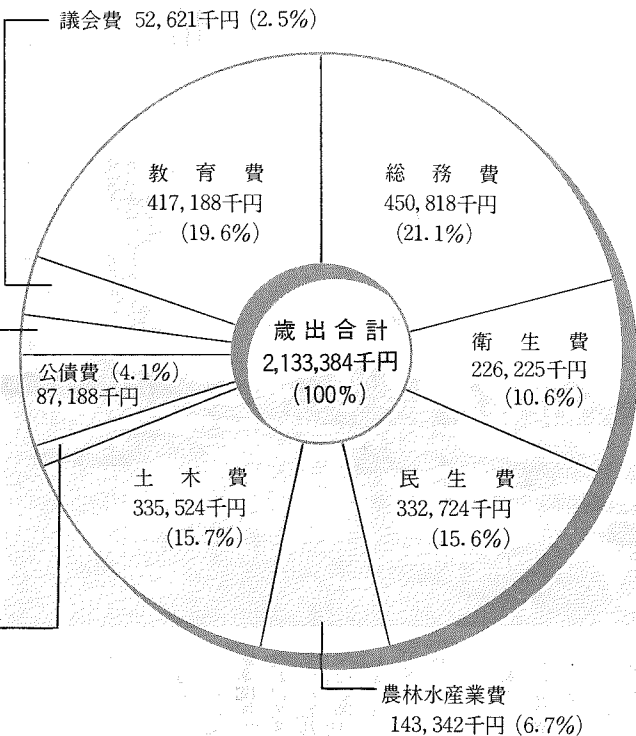
〔歳入〕

県支出金 63,191千円 (2.9%)



分担金及び負担金	44,232千円 (2.0%)
使用料及び手数料	32,754千円 (1.5%)
財産収入	15,408千円 (0.7%)
寄附金	770千円 (0.1%)
諸収入	6,555千円 (0.3%)
地方譲与税	17,695千円 (0.8%)
娯楽施設利用税交付金	24,430千円 (1.1%)
自動車取得税交付金	10,694千円 (0.5%)
交通安全対策特別交付金	5,343千円 (0.2%)
使用料及び手数料	13,773千円 (0.6%)
国庫支出金	2,362千円 (0.1%)
財産収入	35,055千円 (1.6%)
寄附金	40,000千円 (1.8%)
繰越金	28,947千円 (1.3%)
町債(財政対策債)	40,100千円 (1.8%)

〔歳出〕



消防費	43,793千円 (2.1%)
労働費	115千円
商工費	42,818千円
諸支出金	1,028千円 (2.0%)

特別会計

区 分	1千万円	2千万円	3千万円	4千万円	5千万円	10千万円	15千万円	20千万円
国民健康保険事業	614,074千円							
	595,467千円							
水道事業(収益的)	180,353千円							
	178,325千円							
水道事業(資本的)	16,137千円							
	47,786千円							
地方卸売市場冷凍冷蔵事業(収益的)	37,993千円							
	31,031千円							
地方卸売市場冷凍冷蔵事業(資本的)	78,014千円							
	83,479千円							
農業共済事業	15,477千円							
	12,166千円							
桜道土地区画整理事業	341,407千円							
	162,827千円							
公平委員会	7,733千円							
	6,938千円							

※ 水道事業資本的収支の不足額 35,711千円の補てん財源の内訳

過年度分損益勘定留保資金	14,017千円
当年度分損益勘定留保資金	21,094千円
繰越利益剰余金処分額	600千円

※ 地方卸売市場冷凍冷蔵事業 資本的収支の不足額 5,465千円の補てん財源の内訳

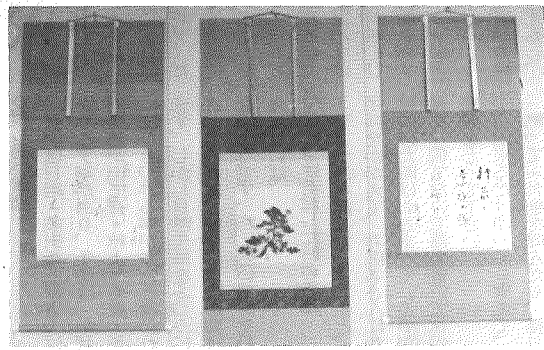
減債積立金	5,100千円
収益勘定	365千円

歳入
歳出

永井なかさん
大観らの軸物

三点を町に寄附

去る7月16日、永井なかさん（磯浜町二四〇三）から貴重な掛軸三幅が町に寄附されました。家宝として長年大切に保存してきた掛軸で、横山大観「海岸の松」一幅（相当額百万円）、北原白秋の書一幅（相当額五拾万円）、高浜虚子の書一幅（相当額五拾万円）の3点です。町では永井さんの深いご好意を謝すると同時に、町民の皆さんに御覧頂くため、常陽明治記念館に保管と公開を依頼しました。おついでに、是非ご覧下さい。



全国青年大会

本町の剣道青年女子チーム
県代表として
出場決まる

来る11月10日から4日間、東京、国立競技場を中心に各会場で行われる全国青年大会に、茨城県代表として本町の浩気館（剣道）女子チームが出場することになりました。出場チームは加藤悦子、川上政子、小沼久子、初段（磯浜町）の4選手により編成され、監督は鶴田勝明4段（磯浜町）です。出場チームは加藤悦子、川上政子、小沼久子、初段（磯浜町）の4選手により編成され、監督は鶴田勝明4段（磯浜町）です。出場チームは加藤悦子、川上政子、小沼久子、初段（磯浜町）の4選手により編成され、監督は鶴田勝明4段（磯浜町）です。

芸術文化祭
産業祭
商工磯節まつり

参加しよう

ような、各種のおまつり行事を予定しています。
ませんか。

第2回大洗商工磯節まつり

○と き 11月3日
○行 事

磯節おどり・山車・広告
パレード

○コース 大貫町あぐり前—髭釜町—永
町—通り町—金沢町—大洗町役場前

お祭り広場

○ところ 大洗町役場前広場

- のど自慢大会
- ビックリ市



道路の
美化と清掃に奉仕

飯田さんに建設大臣表彰

去る9月6日、東光台の飯田薫（みづ）さんに、県土木部長から建設大臣の表彰状が伝達されました。飯田さんは、県土木部長から建設大臣の表彰状が伝達されました。飯田さんは、県土木部長から建設大臣の表彰状が伝達されました。

老人憩の家
へ寄附

日頃老人憩の家を利用していただく方より、寄附の申出が有りましたので、寄附を受け入れまし

- 湯のみ茶わん 五〇ヶ
- 武蔵 きみ（髭釜町）
- 座布団カバー 一五〇枚
- 飛田 ひさ（永町）
- ポット 三本
- 長南 ちよ（永町）



大洗一中
本県初の準優勝を飾る

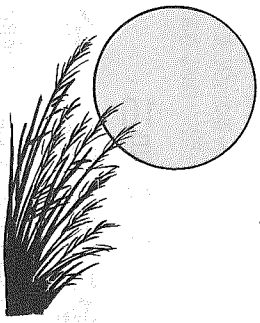


- 部長 田山 友重
- 監督 持田 正彦
- 主将 坪山 慶子（3年）
- 選手 飛田江美子（3年）
- 飛田由美子（3年）
- 照沼 恵子（3年）
- 小松崎 宏子（3年）
- 寺門 美幸（3年）
- 田口 晴美（3年）
- 坂井 洋子（3年）
- 藤田 範子（3年）
- 菅谷 広子（3年）
- 小松崎 陽子（3年）
- 小松崎 佳子（3年）
- 増田 典子（3年）
- 莊司とさ子（2年）
- 秋山 路代（2年）
- マネージャー 鈴木 君枝（3年）
- 信田 栄子（3年）

起
工
式

- 工事名称 大洗町消防庁舎建設工事
- 事業実施場所 大洗町磯浜町6881番地の191
- 構造 鉄筋コンクリート2階建
- 建築面積 延面積851.80㎡（約258坪）
（1階 568.35㎡・2階 257.53㎡・3階 25.92㎡）
- 敷地面積 2319.925㎡（約703坪）
- 総事業費 105,143,000円
- 工期 昭和52年8月19日～昭和53年2月14日
- 工事請負業者 株式会社 葵建設工業
- 工事名称 町立夏海小学校屋内運動場
- 構造 鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部2階建
- 建築面積 636.3㎡（約192.5坪）
- 総事業費 69,290,000円
- 工期 昭和52年8月29日～昭和53年2月28日
- 工事請負業者 株式会社 浩南建設
- 工事名称 町立祝町小学校屋内運動場
- 構造 鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部2階建
- 建築面積 636.3㎡（約192.5坪）
- 総事業費 68,880,000円
- 工期 昭和52年8月29日～昭和53年2月28日
- 工事請負業者 株式会社 秋山工務店
- 工事名称 大洗町宮松ヶ丘住宅
- 事業実施場所 大洗町磯浜町字原8228の1
- 構造 簡易耐火構造2階建 6戸建4棟24戸
1階 4.5帖・勝手兼食事室・浴室・玄関
便所 2階6帖 4.5帖
- 建築面積 1戸当り床面積55.47㎡（16.77坪）
- 総事業費 101,467,000円
- 工期 昭和52年8月1日～11月30日
- 工事請負業者 株式会社 田口工務店
株式会社 関根工務店

町では昭和52年度の建設事業として、大洗町消防庁舎をはじめ夏海小学校屋内運動場、祝町小学校屋内運動場、町営松ヶ丘住宅（24戸）と、統々と建設事業に着手し、現在工事も順調に進捗しています。諸工事の概要は次のとおりです。



秋のまつり みんなで

秋もたけなわ、『文化の日』を中心に、大洗町では今年も次の町民のみなさん！ みんなで参加し、みんなの祭りを楽しみ

第3回 大洗町芸術文化祭

展覧会

絵画・彫刻・書道・写真・短歌・詩・俳句
○と き 11月3日～11月6日
○ところ 大洗町役場 3階

いけばな

○と き 11月3日～11月6日
○ところ 磯浜公民館（曲松）

発表会

○句 会
10月9日 大洗磯前神社
○音 楽
10月29日 磯浜小学校体育館
○吟詠剣詩舞
11月3日 磯浜小学校体育館

茶 会

11月6日 大洗磯前神社

民謡民舞

11月6日 磯浜小学校体育館

日本舞踊

11月13日 磯浜小学校体育館

郵便局コーナー 大洗郵便局

○特殊郵便切手の販売と記念スタンプの押印
○パネルの展示（郵便の歩み）
○相談コーナー（特殊郵便切手や風景入りスタンプ等の蒐集をはじめ、どのようなご相談にも応じます）
○と き 11月3日～11月6日
○ところ 大洗町役場 3階

第2回大洗町産業祭

町の代表的な産業製品である、農産物と水産加工製品の生産技術と品質の向上を図ると同時に、町民のみなさんに地場産業の製品についての認識を深めていただくために、品評会と特売会を行ないます。

品 評 会

○と き 11月4日
○ところ 大洗町役場前広場

特 売 会

○と き 11月5日 午前10時
○ところ 大洗町役場前広場
農産物・水産加工品を豊富にとりそろえ、値段は格安です。

くちしのメモ

馬肥ゆる秋に
食生活改善を
体力回復の
チャンス
女子の三割が貧血症



これを機会に正しい食事の習慣を生活の中に定着させよう。
お米は誤解されている
ごはんをたべると「ふとる」「高血圧になる」「頭が悪くなる」とよくいわれますが、ほんとうにそうなのですか？
必要以上にカロリーをとれば何となく、運動不足も原因のひとつになります。
また、お米の中には、血圧を高めるような成分は何も含まれていません。血圧が高くなるとしたら塩辛いおかずのとり過ぎです。

●最も安いタンパク源
和・洋・中華とどんな料理にも合う「お米」は体のためにも経済的にもお得です。

小松崎はなさん



町の最高年齢者 田山 藤吉さん

明治13年11月6日生れの96歳とはとても思えない元気な声で、日常のことなどを話してくれました。
食べ物・好き嫌いがなく、特に食べ過ぎない様、気を付けている。餅は好物で日に3度食べてもよい。酒、たばこは若い頃からやらない。
楽しいこと・朝起きて、好物を前にお茶を飲むこと。曾孫とテレビを見ること。

田山 藤吉さん



昭和五十二年大洗町長寿者番付

勸進元 大洗町

九月十五日現在で八十八歳（米寿）以上の方を相模の番付表にならって大洗町の「長寿者番付表」をつくってみました。
※名前の変体かなは活字の都合上使用できませんのでご了承ください。（敬称略）

西					東				
横綱 三丁目 小松崎はな 九才	前頭 仲町 小林きく 八才	十両 一丁目 関根のぶ 八才	横綱 三丁目 田山藤吉 九才	番付 毎渡 雨沢あき 九才	十両 明神町 久保田せめ 八才	横綱 三丁目 米川きく 九才	前頭 祝町 松本しち 八才	同 祝町 小川とく 八才	同 祝町 小川とく 八才
大関 蔵前 佐藤喜太郎 九才	同 永町 福本留吉 八才	同 寺金川上こま 八才	大関 二丁目 久米あさ 九才	同 寺金町 田山せき 八才	同 毎渡 秋山くら 八才	同 永町 宮崎常次郎 九才	同 明神町 大川まつ 八才	同 永町 笹目きく 八才	同 永町 笹目きく 八才
同 夏宿 深作あさ 九才	同 明神町 山崎捨次郎 八才	同 新町 関根市太郎 八才	同 通町 松本かね 九才	同 金沢町 松山助七 八才	同 豊金町 鶴田くら 八才	同 阿内きく 九才	同 明神町 清水せい 八才	同 金沢町 中川なつ 八才	同 金沢町 中川なつ 八才
同 夏宿 小野瀬てい 九才	同 母渡 鴨川繁松 八才	同 新町 粉川とく 八才	同 小結 永町 金沢とく 九才	同 十両 蔵前 大作きし 八才	同 年一 小野瀬なつ 八才	同 小結 永町 金沢とく 九才	同 十両 蔵前 大作きし 八才	同 年一 小野瀬なつ 八才	同 年一 小野瀬なつ 八才
同 小結 仲町 小松崎阿さ 八才	同 松崎あさ 八才	同 石崎よね 八才							

10月27日 ↓ 11月2日

最近のドロボウは、現金や貴重品を最も多くねらいます。水戸警察署管内では、昨年五十二件の侵入盗が発生していますが、そのうちの約半数は、「開け放し」、「カギのかけ忘れ」、「カギの設備なし」

保健センターでは、町民の皆さんの健康を守るため、医療機関等との協力により、十

力ギしてる？あなたの愛車
自転車、オートバイなどを利用
する人がふえるにつれ、これらを
ねらったドロボウも多くなってい
くでしょう。

少年の非行は、現代社会のさまざまな問題を背景にして、依然として増加の傾向にあり、昨年は本戸警察署管内で四、四二〇人の少年を補導しています。

少年が非行化するときは、いろいろな徴候があらわれてきます。普段とちがった行動があるときも十分注意して、少年を非行から守りましょう。

有害環境を追放し、少年のためのよりよい環境をつくりましょう。

ますが、又保健センター（電話一〇二〇か六〇九五三）にお問い合わせください。

(乳児健診)

○対象 生后一年以内の乳児

○日時 十一月十七日、午後一時
三十分～午後二時三十分

(受付)

○場所 保健センター

(母性相談)

○対象、妊婦及び産後の母性(妊娠中に高血圧、蛋白、浮腫、糖尿等に異常のあった母親)

○日時 十月二十四日、十一月七日、二十一日、午前九時三十分

午後一時三十分―二時三十分

(受付)

。対象 年令満十六歳―六十五歳までの方、血液比重一・〇五以上の方、体重、男子四十五kg、女子四十kg以上の方

前回の採血から一ヶ月以上経過している方、その他医師が採血前に健康診断の上、可否を決定します。

。場所 保健セソタ

(献血)

。対象 生后三ヶ月―十八ヶ月の乳幼児

日時及び場所 十月二十五日
二十七日、二十八日、保健セソタ

十月二十六日、青年研修所、午後一時三十分―二時三十分

(受付)

。ジフテリア、破傷風混合

。対象 生后二十四ヶ月―三十月

予防疫種

。生来リオ(小児マヒ)

募集

町営公園墓地の使用希望者を募集しています

- 対象 全妊婦・妊娠中の食生活・妊婦体操・赤ちゃんの沐浴等
- 日時 十一月中旬頃予定
- 場所 保健センター
- (成人病及び一般検診)
- 対象 髙釜地区、夏海地区住民
- 日時 十一月九日午後一時三十分～二時三十分(受付)
- 場所 保健センター

町では12月末を完成目標に、町営公園墓地の拡張造成工事を行なっていますが、たゞいま、この墓地の使用希望者を次により募集しています。

● 墓地の所在地
磯浜町字鮫口地内

● 墓地の面積
1区画6.5㎡(約2坪)

● 募集区画数
三〇〇区画

● 墓地の使用料
未定

● 募集期間
昭和52年10月15日より
昭和52年12月20日まで

● 応募条件
原則として大洗町在住者

※ 詳細については役場衛生課環境衛生係へお問合せ下さい。

電話 (七)二八五七

催し

心配ごと相談所から

あなたは、一人で心配ごとに
なやんでいませんか――

大洗町社会福祉協議会において

お困りごとの解決は

行政相談所へ

な々安心した生活を楽しくおくらせておられるように思われますが、家庭内をみますと精神的にも経済的にも色々となやんでいられる人が多いのに驚きます。

みなさん、行政（国、県、市町村等の役所が扱っている仕事）・法律、その他色々なことで困りの方はおりませんか。

茨城県行政監獄局ではみなさん

一、期日 10月21日（金）
一、時間 午前10時～午後3時まで

設けますので、皆さんの機会にご気軽に相談にお出かけ下さい。

のお困りごとを解決するため、行政相談所を次の様に開設いたします。尚、当日は、人権擁護相談と心配ごと相談との合同相談所を開

で

一、場所 大洗町役場3階会議室

一、主催 茨城県行政監察局

町 名	氏 名	実績額	町 名	氏 名	実績額
明 1	井 木 孝 平	40,000	新3の1	小 沼 昇	10,500
" 2	石 鈴 勝 男	19,000	新3の2	小 村 岡 雄	11,100
" 3の上	米 川 隆 治	15,200	" 4	粉 岡 温	7,100
" 3の下	関 根 い 志	8,300	" 5	藤 本 末 吉	12,500
" 4	谷 田 部 吉 藏	8,100	" 5の1	久 保 木 義 雄	27,500
" 5	桧 山 省 省	13,900	" 6	大 山 昇	15,600
" 6	関 根 佐 介	9,300	" 7	関 藤 四郎	24,400
" 7	小 沼 誠 誠	13,000	" 8	関 根 保 男	11,100
" 8の1	清 水 正 伸	10,700	永 1	高 崎 誠 寿	10,900
" 8の2	佐 藤 四 郎	10,000	" 2	田 山 健 次	10,700
" 9	秋 田 兵 衛	10,800	" 3	小 松 急 健	8,200
" 10	関 根 信 信	7,800	" 4	山 形 市 雄	6,900
" 11の1	青 柳 三 雄	18,000	" 5	簿 井 惣 藏	16,200
" 11の2	谷 内 口 保	26,900	" 6	吉 本 謙 太郎	10,200
1 の 2	田 口 常 吉	13,700	" 7	関 野 本 資 農 夫	8,700
1 の 3	岩 崎 欲 欲	8,100	" 8	坂 本 忠 亮	11,300
1 の 5	小 沼 吉 太 郎	7,000	" 10	高 崎 一 雄	23,000
汐見ヶ丘	小 田 秀 男	7,800	" 11	田 中 新 一	15,100
2 の 1	才 田 一 郎	14,700	" 12	平 戸 龍 龍	10,500
2 の 2	大 津 文 次 郎	14,400	" 13	田 山 庄 太 郎	28,480
2 の 3	関 根 俊 夫	20,700	" 14	岡 田 信 次	16,500
仲 2	飛 田 健 助	6,200	" 15の1	関 根 重 雄	8,900
" 3	今 関 富 三 郎	6,400	" 15の2	肥 田 元 太 郎	12,300
金 2	大 久 保 英 雄	10,800	" 16の1	石 田 実 実	16,200
" 3	坂 本 忠 一	8,000	" 16の2	黒 川 実 実	14,600
" 5	堀 江 一 嘉	10,000	舟 1	丸 山 金 藏	7,500
祝 1	伊 藤 藤 栄	21,600	" 2の1	秋 山 友 三 郎	7,700
" 2の1	野 口 德 四	14,200	" 2の2	市 毛 靖 二	6,000
" 2の2	梶 尾 馨 馨	13,200	" 3	大 芦 武 四 郎	5,000
" 3	大 貫 時 男	9,300	" 4	荻 沼 武 夫	4,200
" 4	北 富 太 郎	13,600	蔵 1	林 清 清	10,600
" 5	石 部 国 雄	17,400	" 2	佐 藤 実 実	14,800
松 (1)	小 田 川 金 作	13,500	" 3	田 山 勇 之 助	7,500
" (2)	田 中 本 幸 次 郎	9,000	" 4	大 場 朝 郎	9,300
通 1	坂 本 信 信	7,800	上 2	小 松 崎 亨	9,300
" 2	田 所 禄 造	10,700	" 3	荻 沼 普 正	9,300
" 3	千 葉 福 男	10,100	仲 宿 1	海 老 沢 小 菊	9,600
新1の1	久 野 正 夫	9,000	" 2	田 山 小 忠 文	8,600
新1の2	堀 川 豊 子	4,700	北 1	関 根 忠 文	9,900
" 2の1	瀬 尾 政 政	6,200	" 2	石 田 平 義	8,100
" 2の2	宮 部 政 勝	3,700	南 1	小 野 瀬 彰	7,200

昭和52年度

日赤募金

中間報告
1,519,140円
協力地区一覽
(8月31日現在)

ことしも「赤十字社員増強運動」がはじまりました。

毎年町内会長さんを通じて、町民のみなさんにご協力をいただいておりますが、8月31日現在で、社費1,519,140円が集まりました。これもひとえに町内のみなさまと、町内会長さん各位の深いご協力のたまものと心から感謝いたしております。

これらの社費は、災害救護、身障障害者の援助、青少年の健全育成、など数多くの赤十字事業に使われることになっています。

社費のご協力いただいた町内は上表のとおりです。

なお未整理の町内が若干あります。現在運動期間中ですので重ねてご協力下さるようお願い申し上げます。

町名	氏名	実績額
南角	高柳定男	10,700
"	小野瀬一雄	8,800
"	松本正雄	11,700
" 3の1	江橋輝行	6,000
" 3の2	野口進	8,300
"	小野瀬喜昭	5,600
永16の3	大久保和臣	15,300
髭	柴田恒二	17,600
"	新井豊久	11,000
"	武藤興平	10,000
"	小野瀬健児	15,150
"	田山福助	11,800
"	橘川国造	12,700
"	飯嶋甚孝	10,400
"	浜原正し	12,000
"	濱よ	11,500
" 10の1	米川豊	20,000
" 10の2	小松崎七郎	29,900
" 11の1	小野瀬伝	21,700
" 11の2	石川康	21,500
寺	江橋俊雄	10,400
"	井川英信	8,000
"	田貫貴一	9,700
"	大勢喜英	5,100
"	勢司英雄	7,500
"	小野瀬勇	7,800
"	平沼正男	7,500
"	江橋一郎	12,150
"	小沼常一	6,900
"	奥村清勝	9,200
" 11	奥村正	12,900
角	石橋田美	6,900
"	関根保男	8,400
前	(1) 関根清	6,300
"	(2) 鈴木徳之助	6,000
"	(3) 坂本國	8,100
原	住高橋司	11,700
原	独鈴木信一	3,510
東北	大寮石鴉	3,600
袖	山鬼沢弘	6,000
荒	谷菅毅聲	15,050

町名	氏名	実績額		
浜古上中下矢千松松松松成	欠宿宿宿宿場拓報米山口郡小野瀬大井杉	利精真芳夫清雄泰次正賢弥晴	春一雄一夫正賢弥茂	3,100 14,700 17,700 9,300 8,100 8,200 3,000 7,500 5,700 5,100 3,300 5,100 5,200
大谷川	高根沢	照夫	3,900	
磯浜婦人会長	平戸	美津江	3,000	
計		1,519,140円		

昭和52年度日本赤十字社特別社費

大洗学センター	100,000	
有限会社岡安運送	30,000	
有限会社丸藤商店	30,000	
有限会社浜藤商店	30,000	
海野昌	30,000	
堀間水産株式会社	20,000	
有限会社浜勘商店	20,000	
加部東冷凍株式会社	20,000	
寿多庵(飲食)	20,000	
大洗ホテル	10,000	
日本核燃開発株式会社	10,000	
大洗海岸病院	10,000	
ホテル大洗荘	5,000	
力印水産株式会社	5,000	
株式会社月の井酒造店	5,000	
グリーン大洗緑水園	5,000	
辰元病院	3,000	
篠原病院	3,000	
寛医	3,000	
野手医	3,000	
計		367,000円